



戦後80年

帰還者たちの記憶ミュージアム×二松学舎大学
合同展

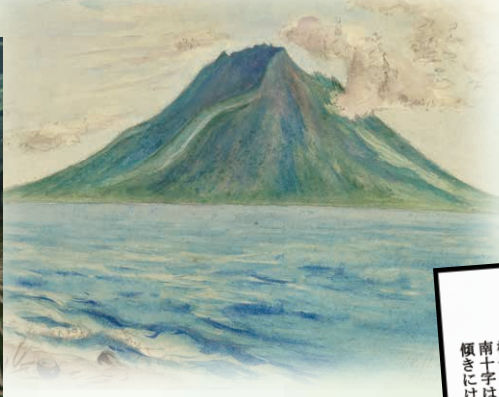


私たちが 伝える戦争

南方へ従軍した兵士たちの記憶



©武田一義・白泉社／2025「ベリリユールー 楽園のゲルニカー」製作委員会



2025.11.2(日) - 11.3(祝)月

二松学舎大学 九段キャンパス
2号館2階 特設会場

- 東京メトロ東西線・半蔵門線、都営新宿線「九段下」駅2番出口から徒歩8分
- JR総武線、東京メトロ有楽町線・南北線、都営新宿線「市ヶ谷」駅から徒歩15分
- 東京メトロ半蔵門線「半蔵門」駅5番出口から徒歩10分
- JR総武線、東京メトロ有楽町線・東西線・南北線、都営大江戸線「飯田橋」駅から徒歩15分

主催：帰還者たちの記憶ミュージアム(平和祈念展示資料館[総務省委託])、二松学舎大学

(上段左から)「中部二十三部隊 羽山」©石津博典/「夜襲されるアンボン」©石津博典

(下段左から)映画「ベリリユールー 楽園のゲルニカー」/「マナム島」©満川元行/二松学舎大学林ゼミ制作「南方抑留かるた」より

[開催時間]

11.2 11:00 - 17:00

11.3 10:00 - 15:00

入場
無料



戦後80年

帰還者たちの記憶ミュージアム×二松学舎大学
合同展

私たちが 伝える戦争

南方へ従軍した兵士たちの記憶

戦後80年を迎えた本年、帰還者たちの記憶ミュージアム(平和祈念展示資料館)と二松学舎大学が、戦争体験の記憶を若い世代が発信し、未来へと繋げて行くことを目的とした合同展を開催します。

南方での兵士たちの戦争体験に焦点を当てた本展では、彼らが従軍先で描いた水彩画やスケッチ、南方抑留をテーマに二松学舎大学文学部歴史文化学科 林英一准教授のゼミナールの学生が制作した「南方抑留かるた」などを紹介します。また、2025年12月5日(金)全国公開のアニメ映画『ペリリュー-楽園のゲルニカ-』の作品世界を紹介するパネル展示も行います。講演会や映像上映などのミニイベントも開催します(詳しくは帰還者たちの記憶ミュージアムホームページをご覧ください)。

関連 企画

戦後80年
帰還者たちの記憶ミュージアム企画展
「兵士たちの目線～南方で描かれた記憶」
2025年10月15日(水)～2026年1月18日(日)
9:30～17:30 ※入館は17:00まで

休館日 毎週月曜日(祝休日の場合はその翌日)、12月28日(日)～1月5日(月)
会場 帰還者たちの記憶ミュージアム(平和祈念展示資料館)
企画展示コーナー(東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル33階)



帰還者たちの記憶ミュージアム
MEMORIAL MUSEUM FOR SOLDIERS, DETAINEES IN SIBERIA,
AND POSTWAR REPATRIATES 平和祈念展示資料館(昭和三十八年)



東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル33階
Tel. 03-5323-8709 <https://www.heiwakinen.go.jp>



二松学舎大学



〒102-8336 東京都千代田区三番町6-16
Tel. 03-3261-7406(教務課) <https://www.nishogakusha-u.ac.jp/>

帰還者たちの記憶ミュージアム所蔵の南方・南洋で従軍した兵士たちが現地で描いた水彩画などを展示。



「息子の髪を洗う父」©野村克己

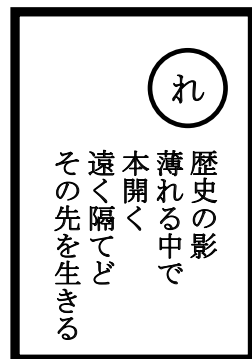
シンガポールやインドネシアなどを転戦した画家・石津博典が戦地で描いたスケッチ(ご遺族提供)を展示。



「クチンの町」©石津博典

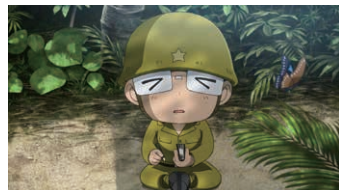


南方抑留を体験した平林和夫氏の短歌集「残響」をもとに林ゼミの学生が制作した「南方抑留かるた」を紹介。



二松学舎大学林ゼミ制作「南方抑留かるた」より

パラオ南西部のペリリュー島での戦いを描いたマンガ『ペリリュー-楽園のゲルニカ-』が映画化(配給:東映)。若者たちが狂気の戦場で過ごした物語を紹介するパネルを展示。



©武田一義・白泉社/2025「ペリリュー-楽園のゲルニカ-」製作委員会
監督:久慈悟郎
声の出演:板垣李光人 中村倫也 他